



町長日誌 祝 No.150

町長日誌の第150号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

4月17日(日) PM:0:30

平成28年度がスタートしました。役場では3月末で4名の管理職が退職しました。長い間町政への貢献に心から感謝を申し上げます。新採用は事務職で2名(30代採用1名、高卒1名)と保健師1名、看護師1名を採用しましたので、町民皆様のご指導をよろしくお願い致します。さて、今年は幸いなことに「彼岸荒れ」と言われる大雪や吹雪なども無く、順調な雪解けとなり新年度を迎えました。海では毛ガニ漁が始まり、ホタテ稚貝撒きのための漁場造成が始まりました。一方、農協でも総会が行われ、間もなく春の肥料散布が始まる季節となります。学校では新学期が始まり、沙留小、沙留中の校長先生と興部小の教頭先生が新しく赴任されました。関係機関では警察署長、開発建設部興部道路事務所所長、建設管理部興部出張所所長、西部森林室室長そして農業共済組合の支所長他管理職がそれぞれ新たに赴任されました。また、これ以外にも町内の職場において新たに興部町に赴任された皆様に対しましても、興部町発展のためにご指導ご協力下さいますようお願いを申し上げます。

3月31日(木)

年度末ですが、国から北興に建設中のバイオガスプラント28年度分の補助事業決定の通知がありました。このプラントは総事業費約7億8千万円を予定していて、28年度分は約2億円となり外構整備などを行い10月には落成してメタンガスを販売する予定です。また、以前から道庁や水産庁と協議していました沙留漁港の赤灯台が有る東防波堤の拡張工事が決定したという通知もありました。来年から始まる漁船上架(漁船を休漁期に陸揚げする)施設が30年度に完成しますので、計画の見直しを行い東防波堤の拡張工事を先行して実施する事が決まりました。

4月1日(金)

朝9時から人事異動による辞令交付を行いました。今回は管理職が4名も退職と言うことで、会計管理者・上下水道課長・農業委員会事務局長・教育委員会管理課長・国保病院事務長の課長職5名、課長補佐職7名、係長職17名などの昇格や異動、さらには職務の異動を含めると30名を超える辞令となりました。慣れるまで時間のかかる部署も有るかも知れませんが、新旧しっかり引き継ぎを行いご迷惑のかからぬよう努力させていますので、よろしくお願い致します。

4月15日(金)

J A北オホーツクの第4回通常総会が開催され出席して祝辞を述べました。早いもので興部・雄武の両農協が対等合併して4年が経過しました。昨年は生乳取引価格が約5円引き上げられたことと、乳牛等の価格が非常に高騰していることからこれまでで最高の116億8千万円の販売実績となりました。興部町に限って見れば27年度は50,299トンの出荷乳量を達成しました。農協は、今年からサイレージ等の収穫作業を委託するコントラクター事業を農協事業として集約して、酪農家の労働時間を低減させ、なおかつ、生乳生産に集中できる環境づくりを進める方針であります。なお、平成12年4月から組合長を長きに亘り務められ合併事業を進めてこられた真坂圭一組合長が今回の総会をもって勇退されました。これまでのご労苦に敬意と感謝を申し上げます。本当にご苦労様でした。

4月14日夜に発生した「熊本地震」、今も揺れが続き、活断層上の家屋は大半がまさに『つぶれた』という状態で、言葉も出ない悲惨な災害状況です。ご親戚や知人などがいらっしゃる方はご心配の事と思います。2011年3月に発生した東日本大震災の被災者が未だに仮設住宅でご苦労されている中で、また新たに相当な数の仮設住宅など、落ち着いた後の「住まい」と「生活」をいったい誰が確保するのでしょうか？ 一日も早い自治体や国の対応を願うばかりです。さて、車のタイヤを夏用に交換された人もいるかも知れませんが、この地域は5月の連休でも雪が降るところです。十分にご注意ください。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。